

授業科目名： 教育課程論（中等）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：水内 宏 担当形態：単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。</p> <p>A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。</p> <p>B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</p> <p>C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。</p> <p>D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p> <p>E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。</p> <p>F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>1. 子ども・青年にどんな文化内容をえらびとってわがものにしてほしいか、子ども・青年のすこやかな発達は、どんな活動によって、どんな過程をたどりながら実現するのだろうかなどということについて考え、知見を深める。</p> <p>2. 学校におけるカリキュラム（教育課程）の在り方および具体的な編成、カリキュラム・マネジメントをめぐる諸問題などについて検討する。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>「授業計画」に示すような各テーマに関してテキストや参考文献をもとに学習したうえで、教員による課題の解明と深化も受けて、カリキュラム（教育課程）論の意義および学校と教職員によるカリキュラム編成の具体的な視点と方法などについて相互に考え合う場とする。</p>			

授業計画

第1回：能力の発達と人間人格の発達——教育課程とは何か・その1——

第2回：学校による子ども・青年の人格形成見通しとしての教育課程—教育課程とは何か・その2—

第3回：学習指導要領と教育課程（1）；教育内容の平準化機能と学習指導要領、試案としての学習指導要領、国家的基準性と法的拘束性を附与された学習指導要領

第4回：学習指導要領と教育課程（2）；小・中・高校および特別支援学校の各学習指導要領、幼稚園教育要領と保育所保育指針

第5回：学習指導要領と教育課程（3）；「高度経済成長」型つめこみ学習指導要領、いわゆる「ゆとり」志向タイプの学習指導要領を経てグローバル社会の時代の学習指導要領へ

第6回：教科とは何か（1）；教科論の意義、子どもの認識発達の系統性と教科内容の系統性

第7回：教科とは何か（2）；「特別の教科・道徳」と教科論、教育課程における教科横断

第8回：発達と教育課程（1）；発達と環境、環境・仲間への主体的働きかけ、発達の過程

第9回：発達と教育課程（2）；あそびの発達の意義とあそびの発達過程

第10回：発達と教育課程（3）；子どもの知的・人格的発達と言語——言語能力獲得の発達の意義と言語能力発達過程——

第11回：「生きる力」をどう考えるか

第12回：教育課程と学力（1）；学力とは何か

第13回：教育課程と学力（2）；学力、基礎学力、学力の基礎、社会の中の学力

第14回：中等教育の教育課程とカリキュラム評価をめぐる諸問題

第15回：各教科間の連携、教科以外の諸活動の適切なあり方、学年全体も見渡した学校全体教育課程の適切な運営ほかカリキュラム・マネジメントをめぐる諸問題

定期試験

教科書

・水内 宏『教育学のすすめ』一藝社、2017年、ISBN 9784863591295

特に「子どもの“発達”に迫る1～4」（第4～8章）、「あらためて考える、<学力>とは何か?1～2」（第9から10章）、「“働きかつ学ぶ”をキーワードに中学卒学校制度の大胆な改革を」（第11章）、および「道徳性の発達をどう引き出すか」（第13章）

・『教育の最新事情/現代教育の動向と課題』教育出版、2020、ISBN9784316804743

第1章—第1節—1 「教育施策及び教育課程の変遷」（p.p. 2～12. 執筆は水内）

・ダウンロード版教科書 「2021 カリキュラム研究特論レジュメ」

・ダウンロード版教科書 「部活動の見直し」をどうみるか

・ダウンロード版教科書 「ダウンロード版教科書 水内「変わりつつある学校」

参考文献

学習指導要領小・中・高校各編および特別支援学校編、幼稚園教育要領、保育所保育指針

水内宏ほか『スポーツ部活はいま』（青木書店、絶版ですが図書館等にはある）

水内の著作『学校づくりと教育課程』（青木書店）および

水内の著作『教育課程・総論』（共著、東京大学出版会）

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。